



## 外国出張報告書

平成 27 年 12 月 11 日

1. 出張国名      ガーナ、フランス
2. 出張月        平成 27 年 10 月
3. 出張目的      アフリカ稲作振興研究プロジェクト (DeriptA) 現地調査及びガーナ国政策担当者との対話、並びに DeriptA ラップアップワークショップ、国際灌漑排水委員会 (ICID) 第 26 回欧州地域会議及び ICID 第 66 回国際執行理事会等出席のため：B

#### 4. 成果の概要

ガーナ共和国の北部州タマレ市近郊にて稲作農家の意識調査を行うとともに、首都アクラ市で開催された DeriptA (アフリカ稲作振興研究開発プロジェクト) ラップアップワークショップ『Workshop on collaborative research activities of JIRCAS project "Development of rice production technologies in Africa"』に出席し、「Contributions of DeriptA to CARD in terms of Ghanaian Rice Policy」と題した発表と情報収集を行った。その後、同市内の食料農業省 (MoFA) 穀物サービス局及び普及サービス局を訪問して政策担当者との対話を行ったほか、広域アクラ地方事務所を訪問し近郊の農家組織 (FBO) を視察して関係者に直接ヒヤリングを行い、情報収集を行った。

また、フランス共和国モンペリエ市で開催された国際灌漑排水委員会 (ICID) 第 26 回欧州地域会議及び ICID 第 66 回国際執行理事会に ICID 日本国内委員会委員として出席し、世界の灌漑排水について関連情報の収集を行った。